

八十嶋洋子プレゼンツ

クララの 室内楽

番外編

ちょっと寄り道
(2020.11/23、2021.5/9の延期公演)



ゲスト

西原 稔 (音楽学者) 八十嶋 洋子 (ピアノ)

増田 貴代子 (ソプラノ) 大森 悠貴 (ヴィオラ) 前川 美月 (フルート)

『《ドイツ・レクイエムへの道》 ブラームスと神の声・人の声』

C.シューマン：音楽の夜会 op.6 より「ノットルノ」〈p〉

R.シューマン：スペイン歌曲集 op.74より「夜に」〈fl, vla, p〉

R.シューマン(C.シューマン編曲)：リーダークライス op.24より「ミルテとバラをもって」〈p〉

J.ブラームス(八十嶋洋子編曲)：歌曲「我が恋は緑」〈p〉

J.ブラームス：アルトの為の2つの歌曲 op.91「ひそかな憧れ」「聖なる子守歌」〈sop, vla, p〉

R.シューマン：ミルテの花 op.25より「献呈」〈sop, p〉

J.ブラームス：ワルツ集op.39より〈p〉

J.ブラームス：ドイツ・レクイエム op.45より第5曲「あなた方にも今は不安がある」〈fl, sop, pf〉

R.シューマン：愛のミネシュピール op.101より「私の美しい星」「私の調べは」〈vla, p〉

J.ブラームス：ハンガリー舞曲集より〈p〉

元々といえば「クララの室内楽」は、銀座十字屋ホールからスタートしました。ホール閉鎖後も、八十嶋さんの情熱は絶えることなく、音楽の生命力を体現されるかのように、ただでさえウィルス蔓延で不安な中で、音楽=希望を届けてくれる。まさかクララに再会できるとは！今から期待で胸が一杯です。

(銀座十字屋/森泰義)

2022.6月12日(日) 第一回 13:00開演 (12:40開場) 高輪プリンセスガールデン内 ホール
第二回 16:00開演 (15:40開場) アンビエンテ

料金 一般 ¥4,000円/学生 ¥3,500 ※全て税込 要予約 ※未就学児のご入場はご遠慮願います。

チケットお申し込み スタジオ・フリーデル チケット受付担当 (渡辺) TEL.03-6264-7892

お問い合わせ スタジオ・フリーデル TEL.03-5700-4055 (電話受付11:00~17:00)

主催：スタジオ・フリーデル 後援：日本ブラームス協会、銀座十字屋、NPOアジアチャイルドケアリーグ

1868年4月10日、静まり返ったプレーメン大聖堂を埋め尽くした聴衆はこれから鳴り響くブラームスの新作を緊張した面持ちで待っていた。貴賓席に向かってBrahmsの父ヤコブがクララに手を取られ静かに歩み着席した。その光景をこの日集まった全ての人々は強い感慨をもって見守っていたに違いない。ヤコブの首席を待って静かに演奏が始まった……西原稔氏の新聞「ドイツ・レイクエムへの道」の冒頭です。

「ブラームスがこの作品で表現しようとしたのは死者への限りない同情と生命への慈しみ、そしてすべての人に訪れる死をどのように迎入れるべきか、という問いである……ブラームスの作品は私には「声」に聞こえる……と仰る西原氏に、ブラームスの秘められた内面の世界を、器楽で奏でる歌曲の魅力とともに語って頂きます。

クララは日記にこう書きました。

「指揮棒を持ったヨハネスを見たとき、私は愛するロベルトが「合唱やオーケストラにおける結集した勢力がブラームスにその力を与えるように、彼がその魔法の杖を振りおろすとき、精神世界の奥義をのぞかせる驚くべき光景が私たちの前に広がっているのだ」と言ったのを思い出さずにいらませんでした。そして……その予言は果たされました。」

クララはあまりの感動に涙が溢れ、もしロベルトが生きていたら感じていたと思われる喜びを共感するのです。

信じ難い現実が歴史を刻んでしまっています。

「レイクエム」がこんなにも身近に感じられるとは思ってもみませんでした。ブラームスの死者への祈りを共感してピアノに向かいます。

(八十嶋 洋子)

西原 稔 にしはら みのる (音楽学者)

山形県生まれ。東京藝術大学大学院博士課程満期修了。桐朋学園大学音楽学部教授を経て、現在、桐朋学園大学名誉教授。18,19世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。「音楽家の社会史」、「聖なるイメージの音楽」、「音楽史ほんとうの話」、「ブラームス」、「シューマン 全ピアノ作品の研究 上・下」(以上、音楽之友社)、ミュージック・ベン・クラブ賞受賞、「ドイツ・レイクエムへの道、ブラームスと神の声・人の声」(音楽之友社)、「ブラームスの協奏曲とドイツ・ロマン派の音楽」(芸文現代社)、「神と向かい合った作曲家たち。ミサ曲とレイクエムの近代史1745-1945」(音楽之友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「聖聖ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「クラシック 名曲を生んだ恋物語」(講談社)、「クラシックでわかる世界史」、「ピアノ大陸ヨーロッパ」(以上、アルテスパブリッシング)、「世界史でたどる名作オペラ」(東京堂)などの著書のほかに、共著・共編で「ベートーヴェン事典」(東京書籍)、翻訳で「魔笛とウィーン」(平凡社)、監訳・共訳で「ルル」、「金色のソナタ」(以上、音楽之友社)「オペラ事典」、「ベートーヴェン事典」(以上、平凡社)などがある。

八十嶋 洋子 やしまし ようこ (ピアノ)

東京都出身。東京藝術大学ピアノ科卒業。旧西ベルリンにてピアノをG・フッヘルト、D・ヘクスタ両氏に、室内楽をR・ワインズハイマー氏に師事。在独中ジュネーブ国際コンクール他、多くのコンクールで伴奏ピアニストを務める。ベルリンのロイヤルアカデミーオブダンシングの正式ピアニストとして数々の公演に出演。1982年ベルリンフィルハーモニー室内楽ホールにて八十嶋龍三とのデュオでデビューの後、チェロとピアノの作品の研究を続け、ドイツ日本各地で演奏活動を続けた。大学在学中より永年におたり、日本を代表する作曲家、平井康三郎氏に師事、多くの日本歌曲の初演、ピアノソロでNHK-FMに出演。現在ピアノソロをはじめ、(チェンバロを含む)室内楽奏者、伴奏者として活動の他、国立がん研究センター他、病院、施設での音楽企画にも積極的に取り組んでいる。これまでに、久保田裕子、林美奈子、松崎俊三、永井進、田村宏の各氏に、2019年より金澤希伊子(佳子)氏に師事。吉祥女子中等高等学校非常勤講師。また、亡き夫から引継ぎ、スタジオ・フリーデル、チェロアンサンブルの「ゴージュの会」を主宰し、恩師である「ベルリンフィル12人のチェリストたち」の創始者ワインズハイマー氏と現在の「12人」の協力を得て夫の遺志を継ぎ、チェロ合奏の楽しさを広めている。2018年3月ドイツのホルゲン、フランクフルトにてクララ・シューマンに因んだ室内楽コンサートに出演。2015年に始めた「クララの室内楽」シリーズは毎回魅力的なゲストを招き、新しい切り口で音楽に迫り、聴衆に新鮮な喜びを伝えている。第7回は再び文学とのコラボを、最終回はドイツでも公演の予定。日本演奏連盟会員。

増田 貴代子 ますだ きよこ (ソプラノ)

東京都出身。東京藝術大学音楽学部声楽科および同大学院修士課程ソプラノ科修了。2000年笹川日仏財団の助成によりパリ・シャトレ座の研修生として渡仏。同劇場にてケント・ナガノ指揮ブゾニ作曲のオペラ「ドクトル・ファウスト」天の声役、ヤナーチェク「イエヌーファ」コーラス、「ミディムジコウ」にてリサイタルを行う。ジョン・ウィル・コルシカ島・ショモンにおいて教会コンサートに出演。帰国後は、日本演奏連盟主催「演進コンサート」にてリサイタルを開催するなど、主に日仏音楽の演奏活動の傍ら後進の指導にあたっている。鎌倉音楽コンクール声楽部門第一位ならびにベルトラメリ能子賞、鎌倉教育委員会賞受賞、第十四回日仏音楽コンクール第二位、U F A M国際声楽コンクール上級部門入賞。児島百代、中村浩子、永井和子、サビース・ヴァタン、イレース・ジャルスキー各氏に師事。現在、コンセルC会員、スタジオ・フリーデル講師、CON BRIO 主宰、横浜英和PTAコーラスの指揮を務める。

大森 悠貴 おおもり ゆうき (ヴィオラ)

愛知県出身。桐朋学園大学音楽学部入学後、3年次に副専攻としてヴィオラを始め、同大学院修士課程入学後ヴィオラに転向。第70回東京国際芸術協会新人演奏会に出演。認定NPO法人トリトニアネットワーク2019年度アウトリーチセミナー生。モーツァルト音楽大学夏期講習会に参加し、Thomas Riebl氏のマスタークラスを受講。これまでにWilfried Strehle氏のヴィオラマスタークラスを、ヴィオラベース2021にて今井信子氏のマスタークラスを受講。所属するフリューゲルカルテットで銀座王子ホール公演を行うなど室内楽に積極的に取り組んでいる。2022年セイジ・オザワ松本フェスティバル子供のためのオペラ・音楽会小澤征爾音楽塾生メンバー。これまでにヴァイオリンを原田幸一郎、神谷美千子、西和由の各氏に、現在ヴィオラを磯村和英、佐々木亮の両氏に師事。

前川 美月 まえかわ みつき (フルート)

東京都出身。9歳からフルートを始める。2020年東京音楽大学卒業。東京音楽大学卒業時に大学より推薦を受け、日本フルート協会主催第47回フルートデビューリサイタル2020出演。これまでに、フルートを佐藤友美、細川順三の各氏に師事。室内楽を中野真理、工藤重典、安原理喜、水谷上総の各氏に師事。副科ピアノ、楽典、ソルフェージュを八十嶋洋子に師事。フリーランス奏者として、都内を中心に吹奏楽や個人のレッスンを行いつつ、ソロや室内楽、CM録音等幅広く演奏活動をしている。MS Windオーケストラ、Ensemble Charme各メンバー。Tops Music Academy講師(2021~)

ご案内

第7回(後編)クララの室内楽 《太宰とショパン、新たな愛と苦悩》

ゲスト：萩原 茂 (日本近代文学研究者)

2022年11月6日(日) 高輪プリンセスガルテン アンビエンテ

高輪プリンセスガルテン アンビエンテ

〒108-0074 東京都港区高輪4-24-40 高輪プリンセスガルテン内

JR品川駅高輪口より 徒歩約6分

TEL:03-3443-1521

品川駅高輪口正面の信号を渡り、第一京浜国道を左へ真っ直ぐ。

Hotel東横インを過ぎて一つ目の角を右折。

150mほど直進して左側に見える最初の曲がり角を左折。

会場での感染防止対策は適切に行いますが、皆様のご協力ご理解、どうかよろしくお願い申し上げます。

